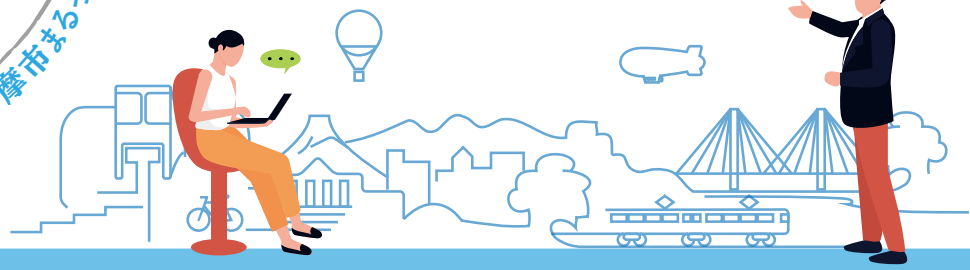


# 協議体通信



“まるっと協議体”は高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域の課題や支え合い、生活支援サービスを検討しながら“健幸まちづくり”を進めています。



## introduction

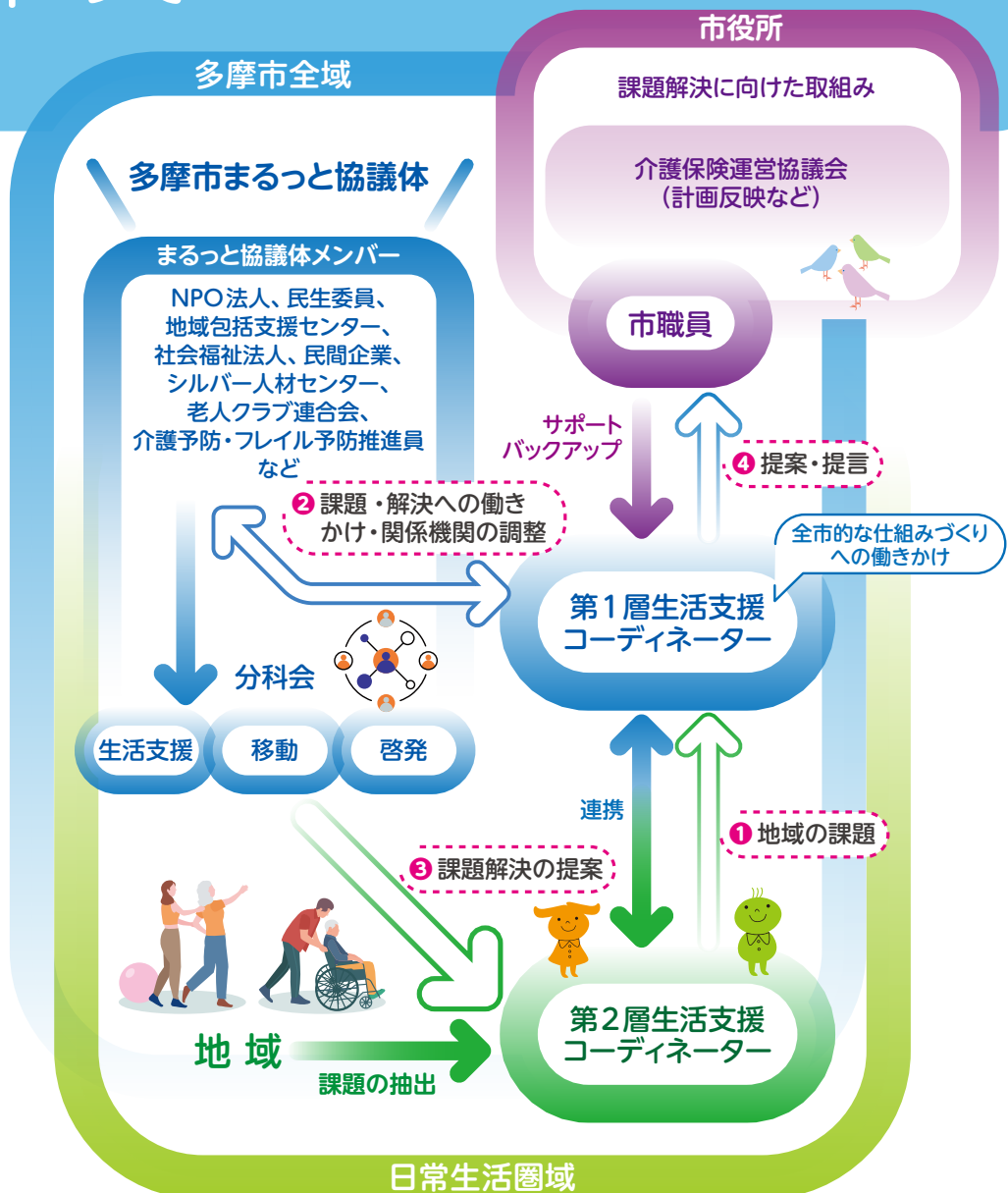
### “まるっと協議体”って なんですか？

多摩市では、子どもから高齢者まで、だれもが幸せを実感できるまち「健幸都市」を目指しています。

そして、医療や介護、福祉等の必要なサービスを利用しながら自立した生活を続けられるよう、「生活支援体制整備事業」として、高齢者の生活支援・介護予防・社会参加等の推進をしています。

第1層・第2層生活支援コーディネーターを中心に、生活支援サービスの体制整備に向けて、話し合いを行っているのが、“まるっと協議体”です。

まるっと協議体は、3つの分科会（生活支援・移動・啓発〔裏面参照〕）に分かれ、地域の課題を出し合い、暮らしやすい地域づくりに向けた検討をしています。





## 生活支援分科会

生活上のお手伝いを必要としている方の自立を支援する互助の仕組みとして、住民主体による訪問型サービス\*1,2の普及を目指しています。

これまでに生活サポーターの養成\*3、活動状況の把握、制度の検証などに取り組み、生活サポーターは247名誕生しました。

互助の活動はお手伝いを受ける方も支援する生活サポーターも社会参加や介護予防につながりますので、更に活動を推進できるように検討しています。



\*1



\*2



\*3

## 移動分科会

高齢者の地域における外出や移動の支援について検討しています。

「地域活動に参加したくても会場までいくことが難しい」、「坂や階段が多くて外出することが大変」など、地域では高齢者の外出や移動に関する困りごとが存在します。

これまでに、当事者である住民や関係団体と一緒に地域の移動に関する課題について検討し、地域懇談会の開催やモデル事業(例・桜ヶ丘の移動を考える会\*4,5)などに取り組んできました。



\*4



\*5



\*6



\*7



## 啓発分科会

まるっと協議体の活動を市民や企業等の皆さんに知っていただくための啓発活動や、地域活動を支援する情報の発信の検討をしています。

「健康・支えあいフォーラム」\*6の他、啓発活動を行うためのイベントを開催していましたが、2019年度からは、市民向け啓発パンフ

レット『60歳をこえてがんばるあなたに伝えたい 生涯現役!いきいき手引き beyond60』\*7を発行しました。

2021年度は、本誌(『まるっと協議体通信』)を発行し、まるっと協議体の活動が、より身近なものとなる取組みを進めていきます。